No. 268

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 法学部 英語攻略チートシート

1,000語級の長文2本と、毎年きっちり2題の記述。語法設問と誤り指摘を知識で片付け、記述の時間を先に確保する。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 記述は5年とも2題。先に解いて白紙を防ぐ
2. 語法設問 Here “〇〇” means は10大問すべてに出た
3. 誤り指摘は他動詞＋前置詞・品詞・単複・受動態を疑う

◆ 形式マップ（2022〜2026年度）

90分・150点中60点（40%）。長文2本（1本1,000語前後が目安。年度で差がある）が毎年先頭に置かれる。

年度	大問	マーク	記述2題の中身
2026	7題	47問	2つの議論の論理の誤りを説明／ボランティアについての自由英作文
2025	6題	46問	Eメール（締切延長のお願い）／地図とグラフのパラグラフ
2024	7題	47問	時刻表を使った案内／ストリートアートの写真のパラグラフ
2023	8題	48問	Eメール（レストラン予約）／風刺画のパラグラフ
2022	7題	49問	語句整序の記述／絵のパラグラフ

動くもの・動かないもの

大問数は6〜8題で揺れるが、**マークは毎年46〜49問、記述は毎年ちょうど2題**。大問の切り方が変わるだけで分量は一定。開始直後に全体をめくり、記述の位置を確かめる習慣をつける。

◆ 大問ごとの攻略法 6

☐ 1 長文：設問の中心は4種類

語法（下線語）／文完成型の内容一致／複数選択（SIX・FOUR・THREE）／主旨要約。設問は本文の順に並ばないので、先に下線語に印をつけてから1回で読む。

☐ 2 語法設問

Here “〇〇” means の5択。狙いは難単語よりイディオム。ダミーは**形をそろえて**ある（un- の5語、A and B 型の5つなど）ので綴りでは選べない。

☐ 3 複数選択

7回中4回が NOT true / NOT correct。同じ大問で「一致しない6つ」と「推論できる6つ」が続いた年もある。個数と向きに丸、マーク前に数え直す。

☐ 4 誤り指摘

毎年1題・4〜6問。誤りがなければ E（ALL CORRECT）。5年で2回 E が正解。下の4点で見つからなければ E を疑う。

☐ 5 句動詞の共通リスト

2022〜2024年度に出題。2023年度は get、2022年度は drive の1動詞に前置詞を付け替える形。基本動詞は前置詞ごとに縦に覚える。

☐ 6 表・グラフ要約の穴埋め

2026・2023年度。数字は要約文に書いてあるので計算はほぼ不要。増えたか減ったか、程度はどれほどかを決めて語句を選ぶ。

◆ 誤り指摘：見る順番 6

記事が分類した5年22問の狙い。例文はオリジナル。

☐ ✕ ~~We discussed about the new rule.~~
〇 We discussed the new rule.
discuss・explain・oppose・mention は他動詞。最頻出

☐ ✕ ~~She is reluctant of speaking up.~~
〇 She is reluctant to speak up.
形容詞の後ろの形（to do か前置詞か）

☐ ✕ ~~It costs practical nothing.~~
〇 It costs practically nothing.
品詞のすり替え（-ly の有無）

☐ ✕ ~~The museum located near the river.~~
〇 The museum is located near the river.
受動態の欠落（located・proven）

☐ ✕ ~~There is few chance of rain.~~
〇 There is little chance of rain.
few は複数名詞に付く。見込みは little chance が定型

☐ ✕ ~~I have finished it yesterday.~~
〇 I finished it yesterday.
現在完了と明確な過去の語は共存しない

◆ 語法設問に効く「A and B」型の慣用句 14

★は2022年度の選択肢に並んだもの。ダミー側も意味だけで選ばされる。

表現	意味	メモ
☐ **off and on ★**	時々・断続的に	正解。on and off も同じ
☐ **heart and soul ★**	全身全霊で	ダミー
☐ **through and through ★**	徹頭徹尾	ダミー
☐ **tooth and nail ★**	必死に	fight tooth and nail
☐ **tried and true ★**	実績のある	ダミー
☐ **by and large**	概して	=on the whole
☐ **few and far between**	めったにない	数が少なく間隔が広い
☐ **part and parcel**	不可欠な部分	part and parcel of ～
☐ **null and void**	無効な	法律・契約の語
☐ **trial and error**	試行錯誤	by trial and error
☐ **give and take**	譲り合い	交渉の語
☐ **touch and go**	きわどい・予断を許さない	容体・勝負に
☐ **hit and miss**	当たり外れのある	hit-or-miss とも
☐ **wear and tear**	（使用による）損耗	賃貸・保険の語

◆ 句動詞・法律の表現（実出題から） 9

2023年度 get、2024年度 警官と市長のやりとりに出た表現。

表現	意味	メモ
☐ **get across**	(考えを)伝える	2023年度
☐ **get through to 人**	人にわからせる・連絡がつく	2023年度
☐ **get by on ～**	～でなんとかやっていく	2023年度
☐ **get behind ～**	～を支持する	2023年度
☐ **get down to ～**	～に本腰を入れる	2023年度
☐ **be charged with ～**	～の罪で告発される	2024年度
☐ **be at liberty to do**	～してよい立場にある	否定で「話せない」
☐ **of a sensitive nature**	機微な性質の	2024年度
☐ **interfere with ～**	～を妨害する	2024年度

◆ 記述2題の型 4

10題の内訳：画像・図表パラグラフ4／実務文書3／思考を書く3。解答例はどれも平易な英語。

☐ **1 Eメール：条件を全部入れる**

指示は Include ALL the following information。日時・人数・確認事項など、指を折って数えて全部入れる。凝った表現より条件の漏れが致命傷。

> I am writing to ask whether I could have one more week for the assignment.
> 課題の提出をあと1週間延ばしていただけないかと思い、ご連絡しました。

☐ **2 画像パラグラフ：描写は1文**

「描写するな」と明記された年がある。描写は0～1文→解釈を言い切る→理由→自分の立場で締める。1枚の絵から一般論を1つ取り出す。

> To me, this picture suggests that we often ignore what is right in front of us.
> 私には、この絵は目の前にあるものを見落としがちだと示しているように思える。

☐ **3 論理の誤りを説明（2026新形式）**

割合の比べ方の誤り、「逆も真」と決めつける誤りが出た。どの前提が抜けているかを1文で指摘し、数字や例で示す。

> No snakes have legs, but not every animal without legs is a snake.
> ヘビには脚がないが、脚のない動物がすべてヘビとは限らない。

☐ **4 自由英作文：条件を守る**

2026年度は理由2つ以上の指定。立場を1文→There are two reasons→First / Second→まとめ。完全な文で書き、箇条書きにしない。

◆ 画像パラグラフ・Eメールの決まり文句 8

描写で終わらせず「解釈→理由→立場」へ運ぶための部品。

☐ **This image makes me wonder why ＿＿＿.** ★★★ … この絵を見ると、なぜ～なのかと考えさせられる
描写を飛ばして解釈から入れる書き出し

☐ **The artist seems to be criticizing our tendency to ＿＿＿.** ★★★ … 作者は私たちの～しがちな傾向を批判しているようだ
風刺画の定番。tendency to do の形

☐ **At first glance it looks ＿＿＿, but in fact ＿＿＿.** ★★☆ … 一見～に見えるが、実は～
対比で解釈を際立たせる

☐ **It reminds us that ＿＿＿.** ★★☆ … ～ということを思い出させてくれる
一般論へ広げる

☐ **I am of the opinion that ＿＿＿.** ★★★ … 私は～という意見だ
立場を示して締める

☐ **We should put ourselves in their place.** ★★☆ … 相手の立場に立って考えるべきだ
put oneself in 人's place(shoes)

☐ **Could you please confirm whether ＿＿＿?** ★★★ … ～かどうかご確認いただけますか
Eメールの確認事項。whether で Yes/No を問う

☐ **I would be grateful if you could ＿＿＿.** ★★★ … ～していただけるとありがたい
依頼の丁寧形。could の後は原形

◆ 表・グラフで使う増減表現 8

2026年度の表要約の文に並んだ型を中心に。記述の図表パラグラフにも使える。

表現	意味	メモ
☐ **a staggering rise**	驚異的な増加	staggering＝度肝を抜く
☐ **solid growth**	堅調な伸び	solid＝しっかりした
☐ **more than double**	2倍を超える	動詞として使う
☐ **a sharp decline**	急激な減少	sharp＝急な
☐ **a downturn**	落ち込み	景気・数字の下降
☐ **77 fewer students**	学生が77人少ない	数＋fewer＋複数名詞
☐ **level off**	横ばいになる	remain stable も可
☐ **Likewise / In contrast**	同様に／対照的に	空所で狙われる接続語

◆ 90分の時間配分（解く順番を変える）

最多の失敗は「長文2本に時間を吸われて記述が白紙」。

時間	大問	ポイント
0～2分	全体をめくる	大問数と記述の位置を確認
2～20分	誤り指摘・空所補充	知識問題をまとめて。誤り指摘は1問45秒
20～42分	記述2題	ここを死守。書きかけでも42分で切る
42～50分	表・グラフ要約	出た年のみ
50～84分	長文2本（各18分）	語法設問の下線語に先に印
84～90分	見直し	記述の綴りと条件、複数選択の個数

◆ 2027年度に向けての注意（記事の予想） 5

☐ **1 予想：骨格は不変**

先頭に長文2題・最後に記述2題、マーク46～49問の枠が続くと記事は予想（確度：極めて高い）。

☐ **2 予想：記述は画像かEメール**

10題中7題がこの2系統。ただし2026年度の「論理の誤り説明」が定着する可能性もあり、逆・裏・対偶や因果と相関の混同を英語で説明する練習をしておく。

☐ **3 予想：句動詞リストの復活**

2025・2026年度は出ていないが、復活に備え get・take・put・come・run などを前置詞ごとに整理。

☐ **4 予想：テーマ**

言葉・差別・歴史・科学が軸。出典は NYT・Times Literary Supplement・The Atlantic など書評誌・論壇誌が多い。

☐ **5 要確認**

大問数が動く学部なので**最新の過去問と入試要項**で形式を確かめる。
難単語は『早稲田の過去問に出た英単語BEST100』で補う。

◆ 2027年度の予想トピック(記事より抜粋)

人権・差別・制度・歴史が軸、そこに科学が1本混ざる。

トピック	押さえる語
母語・多言語とアイデンティティ	bilingualism／belonging
移民・難民の受け入れ	immigration／asylum／xenophobia
感染症と差別の歴史	stigma／quarantine
ジェンダーと教育格差	gender gap／achievement
表現の自由とヘイトスピーチ	free speech／regulation
プライバシーと監視	surveillance／data protection
AIと法的責任	liability／accountability
気候変動と世代間正義	intergenerational justice

◆ 確認テスト

1 The coach and the referee seemed to be in ＿＿＿ .
a parcel　b liberty　c nature　d cahoots

2 Good restaurants in this town are few and ＿＿＿ between.
a far　b long　c deep　d wide

3 It took me weeks to get ＿＿＿ to my parents that I wanted to study abroad.
a through　b down　c by　d behind

4 Which is grammatically correct?
a She mentioned about the problem.
b She mentioned the problem.　c She mentioned to the problem.
d She mentioned for the problem.

5 Sales rose ＿＿＿ from 200 to 900 units in just one month.
a rarely　b sharply　c barely　d slightly

6 I'm afraid we are not at ＿＿＿ to share the details.
a permission　b right　c freedom　d liberty

◆ 解答

1 cahoots in cahoots＝ぐるになって(2022年度の語法設問)
2 far few and far between＝めったにない
3 through get through to 人＝わからせる
4 She mentioned the problem. mention は他動詞
5 sharply 4倍超の急増＝sharply
6 liberty be at liberty to do は liberty で固定

参考資料 原田英語｜早稲田大学法学部英語徹底攻略 過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想(記述10題・語法設問13・誤り指摘22問)／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート(全439本・無料)